

地区中体連アイスホッケー大会 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

感染対策ガイドライン

釧路地区中体連アイスホッケー専門委員会

感染防止について

1 感染拡大防止のために(その1)

- (1) 所管保健所の疫学的調査において選手、チームスタッフ等の感染が確認されている場合。
- (2) 感染が疑われPCR検査等の検査中の選手、チームスタッフ等がいる場合。
- (3) 陽性者との濃厚接触者、同居家族や身近に感染が疑われるものがある場合。
- (4) 大会開始日から過去2週間以内に入国制限、観察期間を必要とされる地域への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。
- (5) 体調不良(37.5℃以上の発熱、咳、咽頭痛、かぜの症状、倦怠感、味覚嗅覚異常等)が数日間続いた場合。また当日このような症状がみられる場合。
 - 上記に該当する選手、チームスタッフ等の大会参加及び試合会場への入場は認めない。
 - 状況によっては、チームも試合を辞退するという可能性があることを含んでおく。
 - 大会開催期間中、選手、チームスタッフ等から陽性者が確認された場合、地区事務局と専門委員会によって大会の開催の継続・中止について検討する。

<選手、スタッフ用>

2 感染拡大防止のために(その2)

- (1) 選手、チームスタッフ等は、大会開始日の2週間前から大会終了2週間後まで健康観察を行い、『健康チェックシート』へ記入し、試合日ごとに各チームの責任者に提出すること。
- (2) 各チームの責任者は、提出された『健康チェックシート』を確認して、『学校同行者の健康状態報告書』を作成し、大会実行委員会に提出すること。
- (3) 大会期間中に選手、チームスタッフ等に体調不良がある場合は、速やかに大会主催者に申し出ること。
- (4) 大会主催者及びチームスタッフは、選手等に体調不良者を確認した場合、医療機関及び保護者等と連携し、当該選手等の体調を確認するとともに、安全に帰宅させるなどの対策を講じること。
- (5) 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、大会主催者に速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
- (6) 各学校の顧問は毎日、『健康チェックシート』を確認する。また大会終了2週間後に、『健康チェックシート』を回収する。

3 感染防止対策

- (1) ソーシャルディスタンスの徹底
 - ① 開閉会式の開催は、現段階では実施する方向で予定する。
 - ② 開閉会式は氷上で行うが、マスクを着用し、十分な間隔(前後左右2m)をとるようにすること。
 - ③ チームスタッフは、選手に対戦相手及びレフェリー等と接触または握手など身体接触を行わないよう指導すること。
- (2) マスクの着用
 - ① 大会関係者、選手・チームスタッフはマスクを準備し基本的にマスクを着用すること。
 - ② 選手は、試合や練習中を除く、また、健康被害が発生する危険性が高いと判断した場合はマスクを外すよう指導すること。
 - ③ チームスタッフは、選手がマスク着用のままウォーミングアップ等をする場合は、身体への高い負

荷がかかるため、選手の健康観察を行うこと。

- ④ チームスタッフは、選手ベンチ内においても必ずマスクを着用すること。
- (3) 手洗い、消毒の徹底
 - ① チームスタッフは、試合や練習前後に、こまめに手洗いを行うよう選手に指導すること。
 - ② 大会主催者は、各会場の選手控室、トイレ等に手洗い用せっけん、消毒液等を設置し必要に応じて場内アナウンス等で手洗いを促すこと。

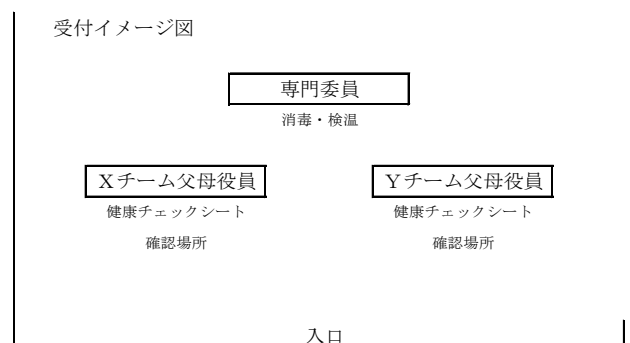
4 密を避ける

- (1) 試合、練習会場への入場は、登録している選手及びチームスタッフ、各学校の顧問の先生方のみとする。
- (2) 試合会場への入場は、1時間前とする。
 - ① 1時間前に集合して防具を控室に置く。控室に多人数で長時間とどまらないようにする。
 - ② ウォーミングアップを行う。
 - ③ アップ後、控室に戻り更衣、スケートを着用し、指定された場所でミーティングを行う。
 - ④ 控室は換気扇を動かし、入口のドアと窓を開けて換気に努める。
- (3) 選手控室の利用は、更衣とスケートの脱着のみとする。
- (4) 整氷時及びインターバルについては、指定された場所で待機、ミーティングを行う
- (5) チームスタッフは、インターバルのミーティングを最低限の内容にするように努める。
- (6) 試合終了後はスケートを脱ぎ、防具のまま、30分以内に会場を離れること。

<観戦者用>

5 感染防止対策

- (1) 事前の準備について
 - ① 観戦者は選手と同居している家族のみとする。
 - ② 各チーム顧問は観戦予定者名簿を作成する。
 - ③ 観戦予定者は大会開始日の2週間前から大会終了2週間後まで健康観察を行い、『観戦者用健康チェックシート』に記入する。
- (2) 受付で行うこと
 - ④ 受付業務は、該当試合以外のアイスホッケー専門委員、及び該当試合の両チームの父母会役員から1～2名ずつシフトして行う。
 - ⑤ 観戦者の入場は試合開始30分前を基本とする。
 - ⑥ 観戦予定者はアリーナの正面玄関から入場して『観戦者用健康チェックシート』を父母会役員提出し、確認後に返却してもらう。
 - ⑦ 父母会役員は提出された『観戦者用健康チェックシート』を確認後、観戦予定者名簿にチェックをして、シートを返却する
 - ⑧ 観戦予定者は確認を受けた後、手指の消毒、検温を受けてから入場する。
 - ⑨ 父母役員は全ての『観戦者用健康チェックシート』を確認して、観戦予定者名簿にチェックを済ませたら『観戦者用健康状態報告書』を記入して、受付にいる専門委員に提出する。
- (3) 観戦後に行うこと
 - ⑩ 試合後速やかに退館する。
 - ⑪ 座席を離れる際、座っていた座席を消毒する。
 - ⑫ 座席の消毒については、観戦者が持参する。
 - ⑬ 大会終了2週間後に『観戦者用健康チェックシート』を提出する。



6 オフィシャル及び大会従事者の安全確保

- (1) 従事者は、必ずマスクを着用すること。
- (2) 試合会場で大会に係わるレフェリーを含めて全ての連盟関係者は連盟の感染対策を行い、大会に従事すること。
- (3) アナウンサーが交代する場合は、マイクカバーを交換し消毒をすること。
- (4) 試合終了ごとに操作盤等、直接触れる箇所を消毒すること。

7 その他

- (1) 本ガイドラインは、日本アイスホッケー連盟及び北海道アイスホッケー連盟の新型コロナウイルス感染症対策事項に準じて作成したものです。記載のない事項に関しては、競技団体の対策事項に準じることを基本とする。
- (2) 大会期間中に感染が疑われる症状が確認された場合は、本ガイドラインに従い、チームの責任の下、報告、診察、検査、出場の有無、隔離、入院、療養、帰宅を迅速に対応すること。
- (3) 各チームの顧問及び試合のなかった専門委員は、試合後に以下の場所を消毒する。
 - <選手控室> 選手が座っている場所、洗面所、トイレ、ドアノブ等)。
 - <観戦者> 応援席付近のトイレ(鍵かかっている使用できないかもしれません)。
1 F エントランス付近にあるトイレ。